

東京錦陵会 37期 第2回 全体ミーティング 議題

【日時】 2017年2月5日(日) 13:00-

【場所】 品川第二区民集会所 第二会議室

【出席者()内が現性】

37期：秋永、阿曾沼(高原)、安藤(安藤)、飯本(脇本)、大塚(田中)、桑畑、佐藤(加来)
佐野、谷口、中原智、中原寿(高宮)、藤本、古野、平野、牧野(小川)、御厨、安広
渡邊、眞有(計19名)

36期：平塚様(学年幹事)、岩崎様(協賛担当)

【議題】

全体ミーティング 13:00 ~ 14:30

① **37期名簿、担当(添付1、2参照)**

藤本くん(受付)、秋永くん(協賛)を追加。協賛に関しては、眞有+αで対応予定。

② **会場下見を踏まえた質疑・意見等**

会場担当、ICT担当、イベント担当他。

③ **第1回 全体ミーティング議事録(添付3参照)**

内容確認と進捗フォロー。

④ **錦陵銘茶販売に関する地元本部との調整状況(添付4参照)**

東京37期から地元へ提案書発信。事務局内で議論してもらい、販売数削減の方向で見直し中。一方、収入減への対策として、地元では新規企業協賛(約200社)加入に向け精力的に活動中。東京錦陵会としても、新規協賛企業の獲得、及び支出抑制を進めていく。

⑤ **会計について(別添)**

活動費運用ルールについて説明と議論(交通費支給等)。

⑥ **協賛について(添付5)**

本部より広告掲載セット受領。本日、36期岩崎さんから指導受け、実務を進めていく。

加えて、新規協賛企業の探索実施。東京、大阪、地元、福岡で賛同してくださる企業募集中。

⑦ **受付について**

よりシンプルなシステムで受付作業できるように検討中(12月にWG実施)。

懇親会費、二次会費、協賛費用は別々に徴収し、年会費については振込済者を事前に確認し、分別する(昨年は一括管理)。但し、システム変えることへの課題有無について確認要。

⑧ **式典(イベント)について**

本日、アイデア出しと方向性確認。

(参考)昨年(2016年)のイベント関連アイテム整理(添付6)

⑧ **会員探索状況(Pure Project 200に向けて)**

⑨ **今後のスケジュール(添付7)**

⑩ **本部の状況(添付8)**

⑪ **連絡事項他(添付9)**

担当別ミーティング 14:30 ~

37期東京 2017/2/1 現在

	氏名(旧姓)	現姓	3年時	出身中	9/17	10/9	11/19	2/5	総会(5/13)
1	秋永 誠司		4組	仲津	-	-	-	○	OK
2	阿曾沼 朋子	高原	2組	城井	○	-	○	○	OK
3	新井 孝広		3組	長峽	×	-	×	×	連絡中
4	安藤 千穂	安藤	3組	中京	○	○	○	○	OK
5	飯本 康子	脇本	3組	豊津	○	○	○	○	OK
6	上原 ミチル	西中	3組	仲津	-	-	×	×	探索中
7	大塚 紀久子	田中	6組	行橋	×	-	○	○	OK
8	大坪 典二		1組	勝山	-	-	×	×	連絡中
9	川平 和紀		7組	今元	○	-	○	×	OK
10	楠田 誠		5組	豊津	×	-	×	×	OK
11	桑畑 仁文		2組	椎田	×	-	○	○	OK
13	佐藤 一江	加来	5組	豊津	○	-	○	○	OK
14	佐野 宏行		1組	築城	○	○	○	○	OK
15	高須賀 正弘		2組	苅田	×	-	×	×	OK
16	谷口 謙一		3組	城井	-	-	○	○	OK
17	徳田 ゆかり		3組	苅田	×	-	×	×	連絡中
19	中原 明年		3組	今元	○	-	○	×	OK
20	中原 智勇		1組	勝山	-	-	○	○	OK
21	中原 寿代	高宮	2組	犀川	○	○	○	○	OK
22	西中 修		5組		-	-	-	×	探索中
23	平野 泰彦		5組	苅田	×	-	×	○	OK
24	藤本 秀孝		3組	豊津	-	-	-	○	OK
25	古野 太一		5組	行橋	×	○	×	○	OK
26	真有 信博		1組	仲津	○	○	○	○	OK
27	牧野 由紀子	小川	7組	犀川	○	-	○	○	OK
28	増田 直樹		4組	豊津	×	-	×	×	連絡中
29	松田 やよい	辻	5組	仲津	○	-	○	×	OK
30	御厨 広之		1組	築城	-	-	×	○	OK
31	宮川 由美	梅田	3組	犀川	○	-	×	×	OK
32	宮田 司		1組	仲津	○	-	×	×	OK
33	安広 祥一		1組	豊津	-	-	○	○	OK
34	山口 雅文		3組	苅田	○	○	○	×	OK
35	山野 美加	井上	3組	苅田	×	-	×	×	療養中
36	渡辺 啓子	田中	7組		-	-	-	×	マレーシア在住
37	渡邊 正紀		5組	行橋	×	○	○	○	OK

14

8

18

19

27

東京錦陵会 37期 役割分担

事前		総会当日		リーダー		サブ		担当		東37
代表	全体推進 地元本部・他支部、東京錦陵会役員会との連携	全体進行		眞有信博						1
会計	総会用経費、当番期活動費管理 地元本部会計との連携 受付、協賛サポート	全体進行サポート		佐野宏行						1
受付	受付システム構築、受付備品準備 (HP担当) HP管理者 (事務局) 東京錦陵会内事務関係 (名簿管理) 37期名簿管理、同期探索推進	受付、会費徴収		山口雅文 (HP担当)	飯本康子 (事務局)	安藤千穂 (名簿管理)	阿曾沼朋子	谷口謙一	松田やよい 藤本秀孝	7
協賛	協賛金徴収、協賛社探索促進	受付サポート		佐藤一江	大塚紀久子	秋永誠司	(眞有信博)	土α		3
会場	会場との調整 会場備品準備 イベントとの連携	会場設営 イベントサポート		古野太一	川平和紀	中原智勇	牧野由紀子	楠田誠		5
イベント	イベント企画、製作	イベント実行		渡邊正紀	中原寿代	桑畑仁文	御厨広之	宮川由美		5
司会	台本作成	司会進行		渡邊正紀	中原寿代					-
ICT	会場機器確認 総会、イベントとの連携(スライド作成含む)	照明・音響オペ		宮田司	安広祥一					2
リペロ	お茶販売促進 全体サポート	誘導、お茶販売 全体サポート		中原明年	平野泰彦	高須賀正弘				3
										27

東京錦陵会 37 期 第1回 全体ミーティング 議事録

【日時】 2016 年 11 月 19 日（土） 13:30-17:00

【場所】 吉祥寺 はなの舞

【出席】 東京錦陵会：長野幹事長、半田副幹事長、坂田副幹事長

35 期：宮川学年幹事

36 期：平塚学年幹事、向井様、吉田様

37 期：阿曾沼、安藤、飯本、大塚、川平、桑畑、佐藤、佐野、谷口、中原明、中原智、
中原寿、牧野、松田、山口、安広、渡邊、眞有（文責） 37 期 18 名

【議事】（ ⇒ 今後の各担当でのアクション）

① スローガン、総会講演者決定

ご講演については、新制東京錦陵会初代会長 野正豊稔様に内諾頂いており、12 月役員会で承認予定

⇒ 25 周年を記念してのご講演の予定であるが、37 期で計画するイベントについても関連した催しを構想中のため、野正様と事前に擦り合わせが必要かも？
イベントの枠組みができた時点で検討（イベント担当）

② 会員探索

38 期に加え、39 期（既に同期で定期的に同窓会開催）についても探索を進める。

Pure 200 は必達したい（昨年は参加者実績 210 名、うち来賓、他支部応援が 33 名であり、東京錦陵会だけでは 177 名。37 期、38 期で +30 名以上、39 期 + α で Pure 200 を確実に狙う

⇒ 38、39 期への声掛け（眞有）

③ 役割分担

● 受付担当

・協賛金、年会費、当日会費は各々性質が異なる（納入先や支払い必須前提等）ため、一括徴収する必要無いのでは？本部はシンプルにできている。

⇒ 半田副幹事長（会計担当）と受付、会計担当で個別ミーティング開催（12/4 10-）
東京錦陵会全体名簿については、長野幹事長より眞有が受領し、受付担当へ展開

● 会計担当

・コアミーティングでの課題を推進
・交通費補助について、今回調査結果（安藤さん）を反映させてルール決定。口座開設等。

● 協賛担当

・協賛担当増員必要（35 期は全員、36 期は 4~5 名で対応）。

高額、新規協賛者などへは、お礼も兼ねて面会するなど、配慮が必要なため。

⇒ 年明けに本部から「広告掲載セット」を受領した後に、分担調整（+眞有）

●会場担当

- ・会場運営会社が変更されることもあり、先方引継ぎ時期の **2月初めに会場下見**とする。
会場との調整窓口は一本化すること。初回会場下見は長野幹事長、半田副幹事長の同行必須。
⇒ 下見日程は長野幹事長と調整(+眞有 全体 M に合わせたいので早目に設定したい。。)

●イベント担当

- ・10年十色では、当番期(S60) - 10,20,30,40 の S20,30,40,50 年卒について、事前に連絡が必要。
基本的には学年幹事にまとめてもらうが、2月末~3月初めに発行する会報に、当該卒年への案内を掲載して頂く。まずは10年十色の概要をまとめ、会報に掲載できる形に整え、長野幹事長へ送付。
また S50 年卒については参加者ゼロであり、長野幹事長から別途、連絡を取って頂く。
当番期より若い世代 (H6,16,26 年卒) については、学校や先生方へ依頼して情報収集する案等、更に検討要。
- ・10年十色以外の企画については、37期全体でアイデア出しし、創り出していく。

●ICT 担当

- ・会場下見は必須。

●リベロ

- ・お茶は、270セット/クラス+100セット/東京錦陵会総会当日販売分
クラス分については、各クラス毎に本部担当者と擦り合わせ (本会では関与しない)
⇒ **当日販売分 (お茶発送時期、数量等) について、本部担当と調整**
- ・エコバックについては、お茶セット数量に合わせて通販等で発注 (他支部との連携不要)

●その他

本部へ確認必要な下記事項については、眞有からまとめて本部事務局へ連絡

- ・応援団派遣依頼
- ・本部各担当連絡先受領
- ・東京錦陵会 37期担当名簿送付

④ コアミーティング議事録内容確認

- ・追記修正：組織部、広報部役員氏名
- ・会場関連：備品関係については、受付用・会場用混在しているため、眞有から一旦飯本さんに発送。川平くんと仕訳け実施。
女子制服については、35期宮川さんに見当ありとのこと。確認頂く。
備品リスト作成あると引継ぎ時の利便性向上するかも。
- ・同期探索：渡辺啓子さん/海外拠点であるが錦陵会参加希望 ⇒ 中原寿さんから連絡継続
松田明美さん、福島正人くん/関東圏外に在住とのこと
38期連絡網を急速に拡大した木田くんに探索要領について事前ヒアした結果、
FB や同窓会名簿活用し、地道に探索したとのことで、特に特効薬無し。

⑤ その他

打合せ後の懇親会等で得られた情報及び話が出た項目等。。。

- ・女子会は中原寿さんが企画。また高尾山ツアー、骨董市、横浜中華街ツアー等も希望が寄せられているとのこと♪
- ・新年会を1月に開催予定。飯本さんから案内出してもらうので出欠回答をお願いします。
- ・1月3日同窓会出欠 飯本さんまで連絡 (w-yasuko1258@docomo.co.jp 090-3087-1476)

最後に、、、

役割分担をお渡ししましたが、これは最低限進めないといけない項目に関しての役割と考えてください。特に10年十色を初めとするイベントは、37期の色を出せる唯一のものなので、これからの女子会や新年会等の中でアイデアを出し合い、担当の枠を超えて進めていきたいと考えていますので、宜しくお願いします。

以上

第 37 期錦陵同窓会
菊池事務局長 様

東京錦陵会 37 期
幹事 眞有

東京錦陵会 37 期からの「錦陵銘茶販売」に関する提案書

本部事務局運営、大変ご苦勞様です。関東でも 9 月の引継ぎ以降、少しずつですが、来年 5 月 13 日の総会に向けて、スタートを切っています。ただ、いろいろと準備を進める中で、「錦陵銘茶」販売について課題が湧き上がり、様々な意見が出ています。本件に関しては東京錦陵会だけでは解決できないので、是非とも本部事務局内でも議論して頂きたいと思ひ、内容整理しましたので、ご検討の程、宜しくお願ひします。

【東京での錦陵銘茶購入・販売の現状】

東京の卒業生でも錦陵銘茶を以下の通り購入・販売しております。

①当番期の卒業生が、一人当たり 10 セット（単価 2,000 円、計 2 万円）程度を購入（※）

（※）3 年次のクラスによって部数は異なる場合があります

②5 月に開催する総会当日に、総会参加者に当日直接販売。（100 セットを完売）

例年、当日は販売支援や運営サポートとして、本部事務局より 8~10 名程度、上京（交通費等の諸費用は本部経費にて支出と聞いています）

①については、地元同期もみなさんも、同程度、もしくはそれ以上の負担をされているのではないのでしょうか。②についてはご存知の方も少ないかもしれませんが、当番期以外の代の方々に銘茶販売と言う意味では、東京では総会のタイミングしか機会はなく、当日に一定数量の販売目標をもち、地元応援もいただきながら当番期で責任もって先輩方に販売セールスしているのが実情です。

【課題認識と解決の方向性】

例年、地元、東京とも、当然のこととして上記のように錦陵銘茶の販売を受け入れているのが実情だと思いますが、在校生が摘み取った錦陵銘茶を先輩たちが購入支援するとしても、その方法については見直す余地が大いにあるのではないかと、というのが、私たちの問題意識です。4 点で課題を整理します。

1. 購入者の偏り

毎年、当番期を中心に大量の購入を割り当てられ、その数を同期内で割り振り購入。少なくとも関東地区では、例年 1 人当たり 10 セット（2 万円程度）の購入が割り当てら

れ、特に近親者が近隣にはおらず、配布先に乏しい当地区では、ほとんどを自己負担しているのが実情。購入には当然協力したいが、2万円という金額の支出については、経済的にも厳しい人も少なからずいるのも実情。当番期なんだから、ということで断ることもできず受け入れざるを得ないというのが本音ではないでしょうか。当番期を中心とした特定一部の人だけで負担するというのが最も妥当な負担の仕方なのか、卒業生みんなで薄く広く毎年負担する、と言う方向性に移行すべきではないか。

2. 東京での総会当日の販売取りやめ

例年、総会当日に出席者に販売セールスしています。地元からの応援者の経費支出は、概ね50万円程度（一人当たり往復交通費4万円+宿泊費=5万円×10名と想定）。お茶の売り上げは20万円（単価2千円×100セット）。懇親の場がセールスの場になることも違和感あり、当番期の当日完売の精神的プレッシャーも相応にあることから、当日販売は取りやめたい。参加者へのお土産として年に一度の総会参加者にお持ち帰りいただく、ということも検討可能。販売中止に伴い、地元からの応援者およびそれに伴う経費も大幅に削減できるものと思われる。（総額50万円の経費削減効果あり）

3. その他物品とのセット販売の是非

愛校心でお茶を購入することは全く吝かではありませんが、地元で開催される講演会チケットやタオルをセット販売されることについては、関東から地元講演会に出席するのは大変困難であり、また上記のように一人で数セット購入するとタオルは余ってばかりで困っている状況です。在校生が摘み取った錦陵銘茶を購入することは理解できても、タオルやチケットまでついた、高い単価のものを購入することは納得感が薄い。セット販売は中止し、お茶単品とすべきである。

4. 売上金の資金使途の透明性

お茶販売収入の使途が明確になっていないことも、販売・購入促進の妨げになっていると思われます。一部は在校生の奨学金として使用されているとの話も聞いていますが、明快に回答できる人は少なくとも東京にはいません。2千円の単価のいくらが学校への寄付に充当され、原価はいくらか、販売による利益（収益）はあるのか、ある場合にその利益はどのような用途に使用されているのか、使途の透明性が重要だと考えます。同窓会の年会費は同窓会運営全般の一般財源として支出されることは理解できても、「錦陵銘茶」の支出は、購入者としての立場としては当然、在校生の活動支援に使われるからこそ、応援したいというものです。使途に納得感を得られれば、一層気持ち良く購入する気持ちになれます。

【提案内容】

以上、4点を踏まえ下記に、あるべき改定の方角性を示します。既に来年に向けての準備は相当に進んでいる部分もあるでしょうし、大きな改定になりうることなので、今回ですべて変更する、ということではなく、今回できるもの、次回以降変更する、といったことも含めて、短期、中長期の視点で見直しを検討したい。

①当番期を中心とした特定一部の購入に頼る運営から、卒業生が薄く広く負担して在校生を支援する、という趣旨から、同窓会で「錦陵銘茶」を総数買い取る運営に変更する。

「錦陵銘茶」の購入は在校生支援のために、卒業生が（理想としては）全員で支援する、ということが本来の趣旨であろうという考えにのっとり、錦陵同窓会が総数を買取することを提案する。当該予算は、同窓会の年会費から支出すべき。当然、現状の年会費からの支出だけでは予算確保は困難だと思われるが、同窓会の運営費全般の見直し、経費削減努力でねん出する。あわせて、同窓会の年会費増額も検討する。単純な年会費増額は会員の理解も得にくい、錦陵銘茶の購入分として、資金使途も明確化（学校への寄付等、学校で使用方法も明示）すれば、理解は得られるのではないかと。年会費の増額分は同窓会の運営費全般には組み入れず、特定財源としてお茶の購入費用に限定する。

②購入した「錦陵銘茶」の使用方法については、同窓会が学校のPR活動や、地元、東京、大阪での総会・懇親会出席者へのお土産として配布する。また、広告協賛いただいた方への謝礼として贈呈する

購入した「錦陵銘茶」の利用方法は同窓会で決定する。具体的な使用方法としては、地元、東京、大阪での総会、懇親会出席者へのお土産として配布するほか、広告協賛していただいた方々（法人、個人）への謝礼品として贈呈する。その他各種イベント等での贈呈、寄付などで幅広くPR活動に使用する。年1回の総会出席で「錦陵銘茶」を持ち帰ることで家族に母校の紹介をすることもできるし、在校時を思い出すきっかけづくりにもなる。母校のPR活動としても各種イベントに利用、配布等することにより、「錦陵銘茶」が活用されることはよいことである。

③東京での総会当日販売は取りやめる

総会参加者へのお土産とすることにより、当日販売は取りやめる。そのことで、当日の地元からの応援者、および出張経費の大幅削減も図られる。（最大50万円程度）

④他の物品とのセット販売は中止する。「錦陵銘茶」だけの単品とする

購入すべきものは「錦陵銘茶」に限定する。余計な物品購入は納得感がない。単価は原価および学校への寄付金分のみに限定し単価を抑制する。

⑤売上金の資金使途は明確化し、同窓会を通じて卒業生全員に情報開示する

「錦陵銘茶」の売上金は在校生支援目的に限定すべきである。同窓会の運営費、一般財源に流用しないことを明確化する。そうでなければ経費負担者である卒業生の納得感が得られない。購入経費は原則、同窓会年会費から支出する。不足分は経費削減によるねん出と、必要であれば年会費の上乗せを検討する。上乗せ分は「錦陵銘茶」購入に限定することを明記したうえで年会費改定を実施する。

経費削減努力については、講演会内容の見直し、支部間の応援費用補助の見直し等、いくつかの案が考えられるかと思います。ただ、こちらでは全体の収支が分からないので、はっきりしたことは言えませんが、例えば東京錦陵会では、講演会演者はO Bで賄い謝礼を抑える、本部・支部応援用旅費補助に関しては総会当日の販売取りやめによる応援削減等、必要経費は抑制するよう一層努力してまいります。

このような提案をすること自体、自分たちの負担を減らしたいからだろう、今回の当番期は愛校心が足りないのではないかと、という先輩方の声がかかる懸念を感じてモノ申しにくい、ということから、歴代の先輩方も改定に至らなかったのではないかと思います。

ただ、この問題は誰かがどこかのタイミングで提起しなければ決して前に進めません。上記のような運営が、我々の当番期の時に改定できることも、すでに色んなことが進行している現状なども勘案すると、困難なことも理解できます。それでも、今回提起し、次の代の当番期や、その次でもいいので、あるべき姿に見直していくスタートにしたいと考えます。

本部事務局は、他支部と比較しても、作業量も内容も多いと認識しておりますが、今後の錦陵会を気持ち良く進めていくためにも、後輩にも末永く引き継いでもらうため、是非、検討していただきたい。宜しくお願いします。

正月には帰省し同窓会に参加する東京錦陵会の37期メンバーもいます。その際にもぜひ本件についても議論させていただきたいと考えています。

以上

1 協賛広告の募集目的

協賛広告の募集は、毎年錦陵同窓会定期総会に合わせて行い、その協賛金は次の目的のために活用する。

- (1) 育徳館高校・中学校の育英奨学金等の教育環境充実
- (2) 同校在校生のクラブ活動支援
- (3) 同校在校生の体験授業で使用される台ヶ原茶園事業の振興
- (4) 本会定期総会の開催費補助

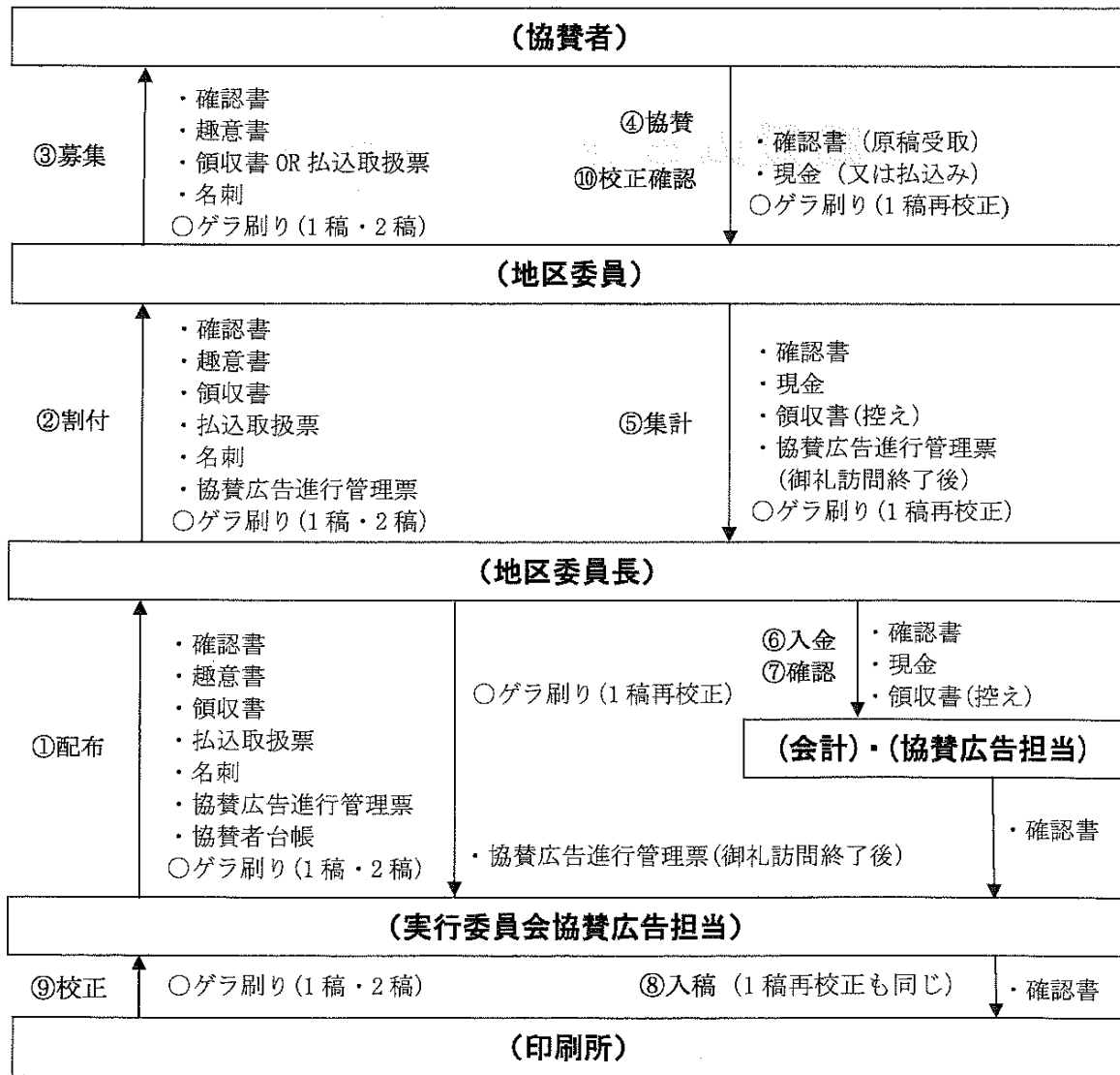
2 協賛広告の募集体制及びその事務

協賛広告の募集は、地区委員（以下「委員」という。）が行う。

また、委員の中から地区委員長（以下「委員長」という。）を選任し下記の事務に当たる（選任方法は各地区に一任する）。

なお、委員長を補佐するために副委員長を置き、委員長不在時に代理を務める。

協賛広告募集事務の流れ

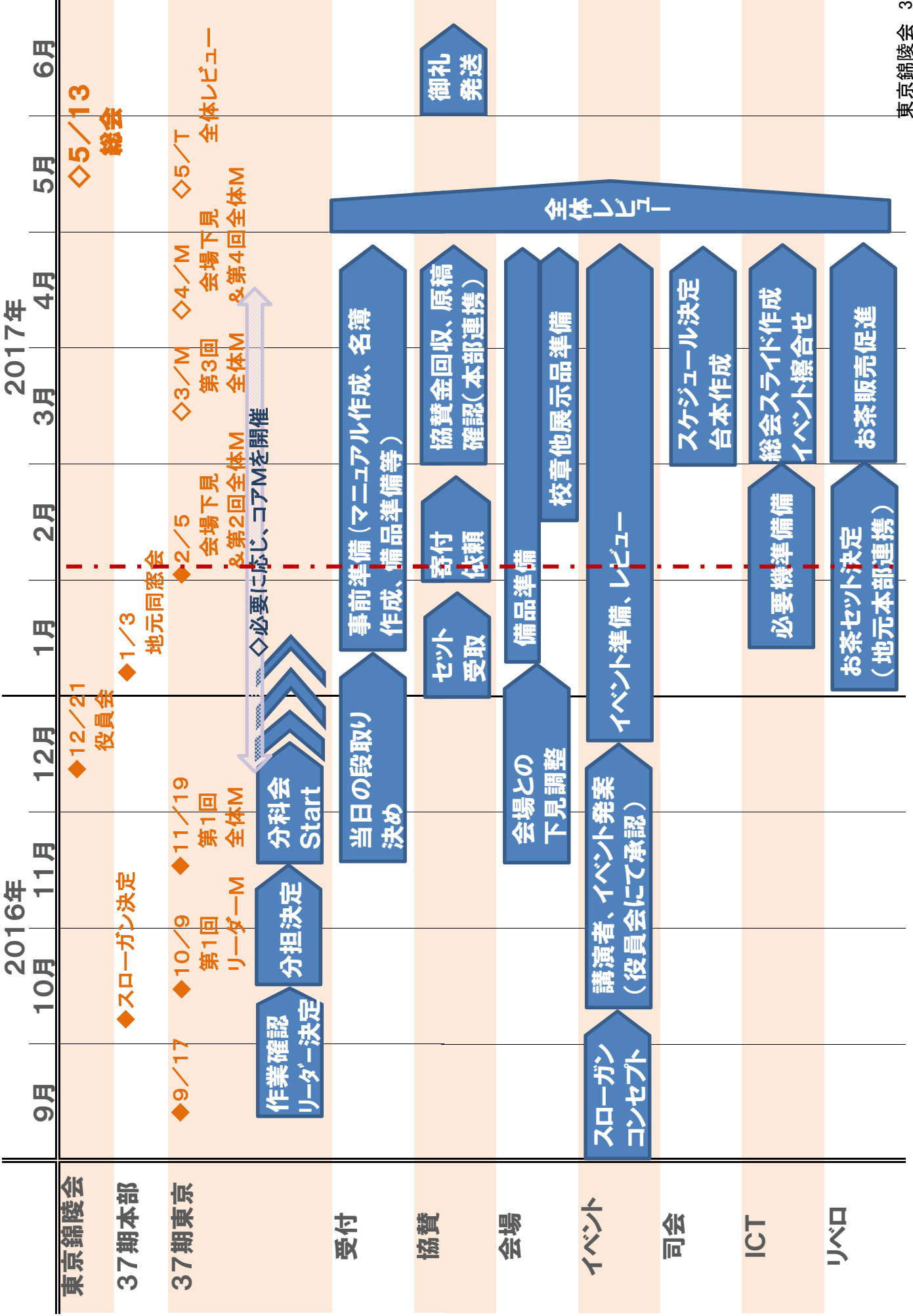


地区	台帳番号	協賛者名	上み	主担当	副担当	領収日	入金日	協賛金額	領収書番号	掲載員	継続	新規	辞退日
関東	と - 1	安本 淡	あんぼんたん								○		
関東	と - 2	網エム・アール・シー	えむあーるしー								○		
関東	と - 3	影田武道(昭和36年卒)	かげたぶどう								○		
関東	と - 4	錦陵賢久会	きんりやうきんきゆう								○		
関東	と - 5	昭和40年卒業生関東在住	しやうわ40								○		
関東	と - 6	昭和42年卒業生関東在住	しやうわ42								○		
関東	と - 7	昭和44年卒業生関東在住	しやうわ44								○		
関東	と - 8	昭和46年卒業生関東在住	しやうわ46								○		
関東	と - 9	昭和48年卒業生関東在住	しやうわ48								○		
関東	と - 10	昭和49年卒業生関東在住	しやうわ49								○		
関東	と - 11	昭和51年卒業生関東在住	しやうわ51								○		
関東	と - 12	昭和52年卒業生関東在住	しやうわ52								○		
関東	と - 13	昭和54年卒業生関東在住	しやうわ54								○		
関東	と - 14	昭和55年卒業生関東在住	しやうわ55								○		
関東	と - 15	昭和56年卒業生関東在住	しやうわ56								○		
関東	と - 16	昭和57年卒業生関東在住	しやうわ57								○		
関東	と - 17	昭和58年卒業生関東在住	しやうわ58								○		
関東	と - 18	昭和59年卒業生関東在住	しやうわ59								○		
関東	と - 19	しながわ稲穂事務所	しながわいせいけい								○		
関東	と - 20	肴旬菜酒房おお田	しゆんさい								○		
関東	と - 21	證大寺(昭和浄苑)	しやうだいじ								○		
関東	と - 22	大秀グループ(大秀建設㈱・渡辺興業㈱・すなづく博多)	たいしゆぐるーぷ								○		
関東	と - 23	網テオーション	てーおーしー								○		
関東	と - 24	東京錦陵会	とうきやうきんりやうかい								○		
関東	と - 25	網トーコンホールディングス	とーこんほーる								○		
関東	と - 26	中村宏一税理士事務所	なかむらこういち								○		
関東	と - 27	日本医学検定協会	にほんいしがくけんてい								○		
関東	と - 28	のぞみ山手駅前保育園(網JoliCoeur)	のぞみやまてえきまえ								○		
関東	と - 29	網素玄	ひやうげん								○		
関東	と - 30	網ホームショップ高崎	ほーむしよつぷ								○		
関東	と - 31	フックヘルズ㈱	らっくひるず								○		
関東	と - 32	網リバーコーポレーション	りばー								○		
関東	と - 33	網レーベンマイスター	れーべんまいすたー								○		
関東	と - 34	和藤友春(浄土真宗本願寺派布教使)	わふじともはる								○		
関東	と - 35	網ナイバーティブエンス研究所	さいばーいふえんす	井下田								○	
計								0					

(参考) 2016年度 イベント関連アイテム整理

Time schedule	全体	会場				受付ロビー(常設)
		司会&イベント	BGM	スライド	照明(詳細は別途)	
11:00	開場	事前アナウンス	準校歌	スライドショー(内容?)	100%	校章 学生服 角帽 自転車ステッカー 卒業文集 HRノート 修学旅行会計報告 卒業式次第 富島健夫作品
11:25		事前アナウンス ・お茶セット紹介 ・オープニングDVD紹介 ・イベント紹介	なし		50%	
11:30	総会開会	アナウンス	なし	オープニングビデオ	0%	
11:40		開会宣言	なし		スポット	
12:00	講演会開始	講演	なし	講演者プロフィール	50%	
12:30	総会(講演会)終了 転換		なし なし		100%	
13:00	懇親会開始 挨拶、乾杯等 歓談	Pro. 200達成祝い	ファンファーレ?	くす玉映像 (本物はNG) 地元風景スライド	スポット	
13:20		10年十色	当時の流行歌	顔写真スライド		
14:10		36期サプローの帰省	ムービー	ムービー		
14:45		応援団演舞	準校歌(合唱)	準校歌歌詞		
14:55		引き継ぎ式				
15:00		閉会				
15:20	二次会開会		なし			
16:20	中締め		なし			

2017年度 東京錦陵会定期総会 準備スケジュール



添付8_本部情報' 170202

「実行委員会の状況」

HPでは、わかりづらい面もあるとおもいますので、現在の進行状況の概要をご連絡いたします。

①企業協賛活動開始
～4月目処

②総会誌寄稿依頼開始
クラス担当を通じ、同級生に依頼

③ポスター作成
50部（企業協賛などで掲載を依頼する分、行政なども）
※チラシは、個人協賛同胞品のチラシを代用
福岡の総会では、印刷が間に合わないので、事務局（案）（・・・ファイル添付）で対応するようにしてしますので、参考に添付します。
今後、印刷屋に発注予定です。
（なのでデザインはかわると思います）

④個人協賛お礼品
スポーツタオル作成
ポロシャツにあわせ、寺本先生の字を使用させていただくことになりました。
デザインについては、前回の会議で、見積もりを貰うためにある程度、絞り込みました。
現在、見積もりを依頼中です。（現在のデザインを添付します）

⑤各支部の活動費について
近々、送れると思います（来週）
本部予算もいままで、学校からいただいた準備金で動いていましたが、企業協賛も始まり先週で数十万円集まっている状況です。
ですので、関東、関西、福岡に送金ができる段階と私としては判断しております。
土曜日の実行委員会事務局で、説明して、来週には手続をすすめたいと思います。ただ、まだ、協賛活動が始まったばかりで、先が見えないのですが、今後は、できるだけ早めに送金できればと思います。
送金計画（菊池案）
今回100,000円
3月初旬50,000円（昨年決算同様）
6月中旬50,000円（昨年決算同様）
で、明後日、事務局案にしたいと思いますが、ご要望があればお聞かせください。

長々とすみません。今後は、こちらの状況を随時送れるよう頑張ります。
取り急ぎ作成したため、変な表現があったらすみませんm（　　）m

菊池

A案



B案



C案



平成29年度

錦陵同窓会定期総会

スローガン 『つなげよう！育徳と錦陵の絆』



講演者 大森 美香さん

開催日 8月20日(日)

場所 コスメイト行橋

タイムテーブル (予定)	開場	12:00~
	育徳館管弦楽部演奏	12:30~
	総会	13:00~
	記念講演	14:30~
	講演者 大森 美香さん	

懇親会 場所：京都ホテル
開始：17:00(予定)

※なお、内容の変更等については、下記問い合わせください。

福岡県生まれ。

青山学院女子短期大学卒業後、
テレビ局勤務を経て脚本家、演出家に。平成17年「不機嫌なジーン」の脚本で第23回向田邦子賞を史上最年少で受賞。平成28年NHK連続テレビ小説「あさが来た」の脚本で第24回橋田賞を受賞。他、ドラマ脚本の代表作に連続ドラマ「カバチタレ!」、「ロングラブレター〜漂流教室〜」「お見合い放浪記」、「ランチの女王」、「きみはペット」、「ニコニコ日記」、「マイ☆ボス マイ☆ヒーロー」、「グッジョブ」、「ブザー・ビート ~崖っぷちのヒーロー~」、「ハングリー」「聖女」、連続テレビ小説「風のハルカ」、正月時代劇「桜ほうさら」など。

映画脚本の代表作に『デトロイト・メタル・シティ』『カイジ〜人生逆転ゲーム』『宇宙兄弟』『プール』など。脚本家のほか映画監督や小説家としても活動中

問い合わせ
実行委員会事務局
mail:
terms-kinryou@yahoo.co.jp

主催：錦陵同窓会・平成29年度定期総会実行委員会（第37期卒業生「昭和60年卒業」）

告知
第1弾

今年の総会は5月13日



昨年の定期総会・懇親会の様子

今年も東京錦陵会定期総会を下記要領で開催します
奮ってご参加ください

日時：2017年5月13日（土）

場所：ベイサイドホテル アジュール竹芝

*詳細は続報で、...



2017年スローガン

つなげよう！ 育徳と錦陵の絆

37期(S60年卒)がお・も・て・なし